

社会科の学習方法

1.授業について

- (1)黒板に書かれたことを丁寧にノートに写す。
 - ①色分けを工夫する。
 - ②漢字を間違えないようにする。(高校入試の出題傾向として、漢字で書かせる問題が多い)
 - ③先生が口頭で説明したことや、自分が調べたこと、感じたこと等をノートに書き込む。
- (2)先生の説明を、耳を澄ませ、集中して聞く。
- (3)積極的に挙手して自分の意見を発表する。
- (4)班活動では自分の意見を述べるとともに、他の意見にも耳をかたむける。
- (5)資料の読み取りなどでは、自分なりの答えを書く習慣をつける。
(自分の考えを持つ)

2.家庭学習について

- (基本)宿題を確実に仕上げる。
- (基本)教科書の本文を読み、重要な部分に線を引く。
- (発展)教科書やノートを見て、習った重要語句を自主学習ノートに整理する。
- (発展)教科書にある資料に目を通す。資料の読み取りができるようにする。

3.各分野の勉強法

【地理的分野】

- (ステップ1)用語を覚えられるように、一問一答形式の問題を反復することや、暗記カード等を作成する。
(例)経度0度の経線を何というか。 → 本初子午線
- (ステップ2)グラフや資料を読み取り、特色をつかむ技能を高める。
- (ステップ3)地理的なことからの関係性をとらえる。
(例)熱帯地域には高床の住居がみられる。 → 熱帯は年間を通して高温多雨であるため。
- (ステップ4)世界地図・日本地図をノートに描き、地形や気候、産業の特色を記入する。

【歴史的分野】

(ステップ1) 用語を覚えられるように、一問一答形式の問題を反復することや、暗記カード等を作成する。

(例) 平安京がつくられたのは何年か。 → 794年

(ステップ2) 資料を読み取り、各時代の政治、文化、社会の特色をつかむ技能を高める。

(ステップ3) 歴史的なことがらの関係性をとらえる。

(例) 平安時代には女性の優れた文学が生まれた → 女性がひらがなを使用したから。

(ステップ4) 時代の流れをつかむために、日本や世界の歴史年表を作成する。

【公民的分野】

(ステップ1) 用語を覚えられるように、一問一答形式の問題を反復することや、暗記カード等を作成する。

(ステップ2) 日本国憲法の重要条文を知り、日本の政治、経済、社会のしくみをとらえる。

(ステップ3) 新聞やニュースを参考にして、日本や世界の動きについて意見や考えをまとめる。

4. テスト対策について

(1) 教科書を読み直す。

→本文の太字部分だけではなく、資料や写真にも注目する。

(2) ノートを読み直す。

→ノートを見ながら、さらに要点の整理をする。ノートには、基本的な内容が記入されている。

(3) ワークブックなどで、問題を繰り返し解く。

→ 自主学習ノートなどに、ワークの問題の答えのみを記入し、くり返し解答する。

※1回だけでは力が定着しない。力がつくのは「くり返し」。